

東北大学・男子が接戦を制して久しぶりの優勝。
新潟大学・女子は混迷のレースを抜け出して優勝。

2013年3月10日(日) 栃木県日光市
日本学生選手権大会リレー部門



会場から、森を走る仲間に届ける想い。
最高の舞台は想いの力で創られる。

男子選手権

- 1 東北大学 2:05:55
(宮西優太郎/関淳/菅野敬雅)
- 2 東京大学 2:06:13
(真保陽一/堀田遼/結城克哉)
- 3 名古屋大学 2:14:34
(渡仲祥太/細川知希/近藤康満)
- 4 一橋大学 2:17:09
(太田晶久/細淵晃平/池田純也)
- 5 京都大学 2:17:36
(岡本耀平/松下睦生/寺田啓介)
- 6 横浜市立大学 2:28:09
(本山翔太/田中基士/中島正治)

女子選手権

- 1 新潟大学 2:25:51
(福井莉子/大関幸織/名塚晴香)
- 2 岩手大学 2:27:17
(關明日香/多田智美/高橋美誉)
- 3 金沢大学 2:29:07
(帖地藍/松岡里沙/横山理恵)
- 4 横浜市立大学 2:35:28
(千明瑞希/冨家遼子/大河内恵美)
- 5 津田塾大学 2:40:38
(山口遼子/増山友理子/小泉佳織)
- 6 お茶の水女子大学 2:55:00
(田中千晶/小山奈月/稲毛日菜子)

東北大学・届いた願い

東日本大震災から2年が経とうとしていたこの日、東北大学が願い続けた「インカレリレー優勝」が現実となった。

思い起こせば2年前の岐阜インカレの開会式の最中に発生した東北・太平洋沖地震より悪夢が始まった。東日本大震災と呼ばれた数々の被害。幸い、学生たちの多くは岐阜県に居たため、人的被害はなかった。東北大学の学生はその後に厳しい現実と直面することになる。だが震災から2年。東北大学の願いは現実になった。実力で夢をかなえたのだ。



優勝が決まり、想いが溢れる



東北大学2走・関淳から3走の菅野敬雅にチェンジオーバー。この時点で3位。2位の名古屋大学までは2秒差、1位を走る東京大学まで40秒差。優勝争いはアンカー勝負に持ち込まれた。



東京大学アンカーの結城克哉。リレー競技で2番目のタイムを叩きだすも、ベストタイムを記録した東北大学アンカーの菅野敬雅に及ばず、18秒差で東京大学は2位。結城克哉は前日のインカレレミドルでは優勝

東京大学・潰えた4連覇

昨年までインカレリレー3連覇を達成した東京大学だが、4連覇はならなかった。

この日の朝にインカレ会場に集まった学生たちは、入学してこのかた東京大学が優勝するところしか観たことがなかったのだ。前日に行われたインカレレミドル競技では東京大学が男子上位3位を独占。誰が見ても東京大学は優勝候補の最右翼だった。

そして実際3走の中間地点までは東京大学が先頭を走っていた。だが現実には東北大学の力が東京大学を上回った。ここに東京大学4連覇の夢は潰えた。

優勝を当然視され、それでも最後までその力を出してきた彼らもまた素晴らしい。こうした学生たちのホンキが観られるインカレは素晴らしい。



宙を舞う東北大学3走・菅野

伏兵新潟・女子を制す

驚いた。新潟大学の女子がインカレ優勝を飾った。全く想定していなかった。2年前に長野県蓼科高原で行った山川キャンプ・出張松塾に参加し、いっしょに高原を走り回った彼女達が学生選手権を制するとは思っていなかった。

実際、レースは椋山女学園大学が2走終了時点で抜け出し、椋山の優勝は確定かと思われた。だが椋山3走が不運にも失格となり優勝戦線から脱落してしまった。

女子の3走フィニッシュの1位成績を出したのは、実は立教大学・早稲田大学の合同チーム。女子メンバーが集まらなくて組んだ連立チームが1位と

なったのもインカレ史上初めてのことである。しかしこのチームも大学別の表彰対象とはならない。

その次にフィニッシュした新潟大学が女子選手権リレー優勝校となった。

地方の時代

女子リレーの上位は、新潟、岩手、金沢と地方大学が名を並べる。特に北信越学連で女子のいる2校が上位に顔を出しているのが特徴だ。

昨年のイカレリレーで金沢大学が優勝した時も驚いたが、今年も新潟大学が驚かせてくれた。



新潟大学女子3走・名塚晴香へ
チェンジオーバーする2走・大関幸織

インカレは明日への力

日本学生オリエンテーリング連盟の加盟員が増加に転じている。つい数年前までは数百名まで減少した日本学連の加盟員だったが、ついに今年度は1,000名の大台を回復した。インカレの参加人数も徐々に増えてきている。

学生が目標にする大会はインカレである。インカレを通じて仲間と知り合い、スポーツの素晴らしさ、オリエンテーリングの面白さを感じている。

インカレはオリエンテーリング界の明日の力になるとともに、学生が将来支える社会の明日の力へとつながっているのだ。

(木村佳司)



インカレリレー閉会式後、参加学生全体による記念撮影。日光の地に700名を超える参加者が集った。学生の祭典を祝うかのような、春本番の暖かさと快晴の中、競技は行われた。